

地域住民の防災力向上 ～平時からの取り組み～

地震や記録的な豪雨により、甚大な被害が発生しています。耐震や治水対策といったハード対策は行政の最も重要な施策の一つです。しかし、一旦大災害が発生すると、公ができることには限界があり、自助と共助が非常に重要です。この研修では、地域住民の防災力向上のために、平時から行政がどのような取り組みを進めていくか、防災教育も含めて考えます。

研修の ポイント

- ◆講義や事例から、防災教育の必要性や地区防災計画の活用について理解を深めます。
- ◆演習をととして、平時からできる減災活動について考え、その手法を学びます。

開催要領

日程	平成29年5月24日(水)～5月26日(金) (3日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村等の消防・防災担当の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
募集人数	40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	9,850円 上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成29年4月10日(月)まで
申込方法	JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。 ※FAXによる受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(http://www.jiam.jp/doc/)からもダウンロードできます。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。 詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

TEL 077-578-5932

FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。



5/24

(水曜日)

11:00～

入寮受付・昼食

12:30～

開講・オリエンテーション

13:00～15:35

【講義】地域における防災体制の構築に向けて

～災害のリスクコミュニケーション戦略～

京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授 **矢守 克也** 氏

自然災害から命を守るためには、住民自らが地域の危険箇所を認識し、平時から災害に対する心構えを持つことが重要です。

本研修の基調講義として、住民主導での防災体制構築を促すための、住民と行政との効果的なリスクコミュニケーションのあり方について、各地での実践事例を交えながらお話しいただきます。

15:50～17:00

【事例紹介】高知市における住民の防災意識を高める取り組み

高知県高知市地域防災推進課地域防災推進担当係長 **山中 晶一** 氏

地域住民の防災意識を高めるために実践している高知市の取り組みについてお話しいただきます。

17:30～

交流会

夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

5/25

(木曜日)

9:00～12:00

【演習】ゲーム型教材クロスロードで防災意識を高める

神戸市行財政局職員研修所副所長 神戸クロスロード研究会 **柿本 雅通** 氏

阪神・淡路大震災における神戸市職員の災害対応についての研究から生まれたゲーム型教材「クロスロード」は、地域での防災学習教材として広く取り入れられています。

この演習では、ゲームを通して、災害対応の判断の疑似体験やグループにおける意見交換等により、日頃から災害時の対応を想定しておくことの重要性について考えます。

13:00～14:10

【事例紹介】茅ヶ崎市における「防災もまちづくり」の取り組み

神奈川県茅ヶ崎市都市部都市政策課 課長 **関野 達夫** 氏

住民が主体となって防災まちづくりを考える「自助・共助」と「公助」の持続について「防災“も”まちづくりワークショップ」の取り組みなどについてお話しいただきます。

14:25～17:00

【講義・演習】地域住民の自助・共助を進める

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 **鍵屋 一** 氏

地域住民の自助・共助を進めるための導入講義のあと、自団体で実施している防災啓発や訓練等の情報を受講者間で共有し、防災意識の向上を図るとともに災害に強い人材育成について考えます。

5/26

(金曜日)

9:25～12:00

【講義】地域全体の防災力を向上させるために

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 **鍵屋 一** 氏

自治体が中長期的に減災を進めるには、地域特性にあわせた減災目標の設定と、その達成に向けた戦略が必要です。

防災担当職員としての経験をお持ちの講師から、現場目線での地区防災計画と公助による防災・減災のマネジメントについて総括的に話しいただきます。

12:00～12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。

なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。

◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。

◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。